



無セキツイ動物 昆虫類

不完全変態

昆虫以外の無セキツイ動物

セキツイ動物

無セキツイ動物 昆虫類

不完全変態

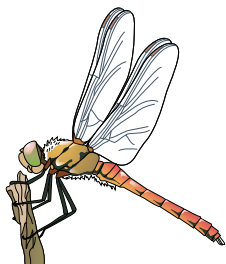
昆虫以外の無セキツイ動物

セキツイ動物

アキアカネ



アキアカネはトンボで、(1)になると、草むらなどいろいろな場所(ばしょ)で成虫(せいちゆう)が飛んでいるのがよく見られます。「赤とんぼ」などともよばれます。



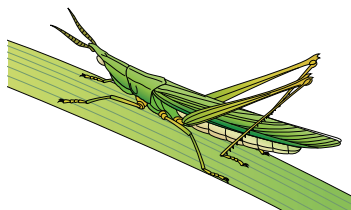
+ プラスワン

アキアカネは、6月の終わりごろ(おわり)田んぼ(いんぼ)などで羽化(うけ)したあと山(やま)に移動(いどう)し、夏の間(なつ)はすずしい山(やま)で過ごします。秋になると山(やま)から平地(へいち)へ移動(いどう)します。そのため、アキアカネが見られるようになると「秋(あき)がきた」と感じ(かん)じます。羽化(うけ)したばかりのアキアカネの成虫(せいちゆう)のからだはオレンジ色(おれんじいろ)ですが、成熟(せいじく)するにつれ赤色(あかいろ)になります。

ショウリョウバッタ



ショウリョウバッタは(2)を食べるバッタで、草むらなどでピョンピョンと大きくとびはねるすがたがよく見られます。ほっそりとした(とく)特ちょう的(てき)なからだつきをしています。



+ プラスワン

ショウリョウバッタやトノサマバッタなどバッタのなかまは、草(くさ)にまぎれて敵(てき)に見つからないようにするため、からだの色(いろ)が緑色(みどりいろ)や茶色(ちやいろ)です。

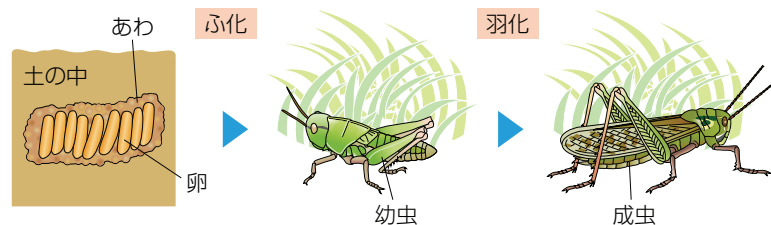
トノサマバッタ



トノサマバッタは(3)を食べるバッタで、草むらなどでピョンピョンと大きくとびはねるすがたがよく見られます。

成長のようす

トノサマバッタなど、バッタは(4)です。卵(たまご)が(5)すると、幼虫(ようちゆう)は(6)をくり返(かえ)しながら成長(せいちゆう)します。やがて幼虫(ようちゆう)は(7)し、成虫(せいちゆう)になります。



トノサマバッタは(8)で(9)に包まれた(10)のすがたで冬(ふゆ)ごしします。(11)になると卵(たまご)が(12)して幼虫(ようちゆう)が成長(せいちゆう)し、夏(なつ)ごろに成虫(せいちゆう)になります。成虫(せいちゆう)は(13)に卵(たまご)を産(う)みつけます。

トノサマバッタは(14)のサイクルを2回(に)ぐらいくり返(かえ)しますが、秋(あき)に産(う)みつけられた卵(たまご)は、そのまま(15)のすがたで(16)します。

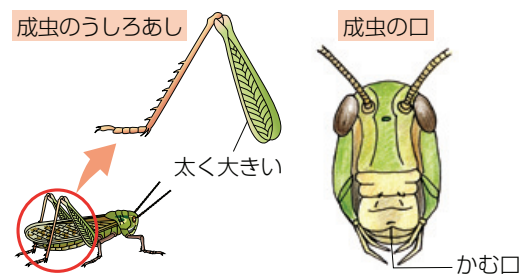
食べ物とすみか

トノサマバッタの幼虫(ようちゆう)と成虫(せいちゆう)は草むらなどにすみ、(17)を食べます。

からだのつくり

トノサマバッタの成虫(せいちゆう)は大きく発達(はたつ)した(18)をもち、遠くまで大きくとびはねることができるようになっています。

トノサマバッタの幼虫(ようちゆう)と成虫(せいちゆう)は草(くさ)をかじって食べるため、口(くち)は(19)です。



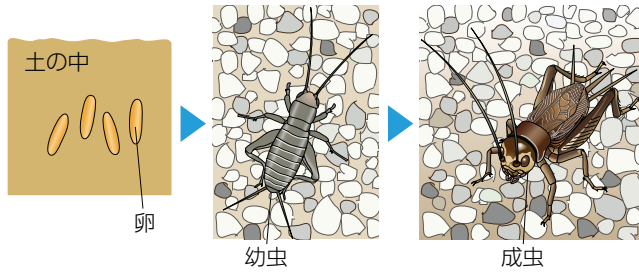
コオロギ



コオロギのなかまは、草むらや畑などに生息しています。(20)になると、(21)に(22)が「コロコロリーリー」と美しく鳴くことで知られています。コオロギはおもに(23)に活動し、昼間は石の下などにいます。

成長のようす

コオロギは(24)です。卵が(25)すると、幼虫は(26)をくり返しながら成長します。やがて幼虫は(27)し、成虫になります。



コオロギは(28)で(29)のすがたで冬ごしします。春ごろになると(30)して幼虫が成長し、(31)ごろに成虫になります。成虫は(32)に卵を産みつけます。

+

コオロギのめすの成虫は、腹の先に「産卵管」という長い針のようなものもちます。それを土の中にさし、卵を産みます。

食べ物とすみか

コオロギの幼虫と成虫は草むらや畑などにすみ、(33)や(34)などいろいろなものを食べます。

からだのつくり

コオロギの成虫には、胸の部分にあしが(35)、はねが(36)あります。おすの成虫は、外側の(37)のはねにやすりのようなものがついていて、それらを少し立て、(38)で音を出します。

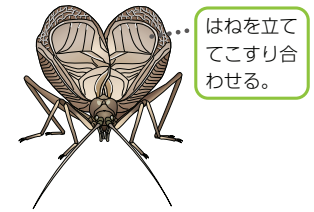


音を出すようす

スズムシ



スズムシは、草むらや畑などに生息している昆虫で、コオロギの一種です。(39)になると、(40)に(41)が「リーン、リーン」と美しく鳴くことで知られています。



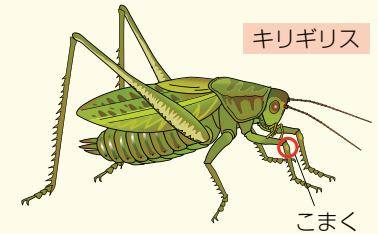
音を出すようす

スズムシは(42)です。(43)した直後の成虫にははねが(44)ありますが、やがて内側の2枚を落とし、外側の(45)だけになります。

おすの外側の(46)のはねにはやすりのようなものがついていて、それらをしっかりと立て、(47)で音を出します。

+

コオロギやスズムシ以外にも、はねをこすり合わせて音を出す昆虫がいます。キリギリスは、夏の屋に「ギーッチョン」と音を出します。クツワムシは秋の夜に「ガシャガシャ」と音を出します。マツムシは秋の夜に「チンチロリン」と音を出します。コオロギやスズムシ、キリギリスは前あしにこまくがあり、そこで音を感じとります。



キリギリス

こまく